

議会 だより

9月市議会から

平成14年第3回安城市議会定例会が9月4日から30日まで開かれ、提出された「平成13年度安城市一般会計歳入歳出決算」など36案件が原案どおり決まり、4件が報告されました。

5日と6日の一般質問には、11人の議員から市民生活、福祉、産業振興、都市整備など市政の各方面にわたり質問がありました。この議会で決まった主な内容をお知らせします。なお、本会議の詳しい内容は、11月下旬に出来上がる「会議録」を、市役所市政情報コーナーまたは中央図書館でご覧ください。

碧海5市の合併協議会 設置議案を可決

「碧南市・刈谷市・安城市・知立市・高浜市合併協議会の設置」議案は、9月30日の本会議で、賛成多数で可決しました。

市民団体が5市の市長に対し、「中核市を目指して、合併の是非を含めた協議の場として協議会の設置を」と、求めています。

なお、協議会の設置は、5市すべての議会で可決されて初めて成立するもので、一部の議会が否決したため不成立となりました。

平成13年度の15会計決算を 原案どおり認定

平成13年度の15会計決算を審査

し、いずれも原案どおり認定しました。認定した主な会計の決算概要は次のとおりです。

◇一般会計歳入歳出決算

歳入総額は31億1080万円余

で対前年比14%減、歳出総額は510億5120万円余で同11%減といずれも前年度を若干下回りましたが、差し引き20億5950万円余となり、前年度に引き続き黒字決

平成13年度一般会計決算のあらまし

《歳入》531億1080万8495円（対前年比△1.4%）

自主財源 (77.5%)	依存財源 (22.5%)
-----------------	-----------------

- 自主財源に占める市税の割合＝75.3%
- 依存財源に占める市債の割合＝15.2%

《歳出》510億5123万9929円（対前年比△1.1%）

投資的経費 (23.0%)	義務的経費 (34.2%)	その他の経費 (42.8%)
------------------	------------------	-------------------

- 投資的経費＝公共施設建設事業に充てられた経費
- 義務的経費＝人件費・扶助費・公債費を合わせた経費で、任意に削れないもの。この比率が高いほど、財政構造の健全性がなくなる

◆財政状況◆

○財政力指数

11年度1.14⇒12年度1.13⇒13年度1.20
1.00より大きいほど財政力が高い。安城市は、全国的に見ても高い財政力を維持している。

○経常収支比率

11年度70.8%⇒12年度69.8%⇒13年度71.6%
財政構造の弾力性を示す数値で、標準は75%程度とされている。

○公債費比率

11年度7.6%⇒12年度8.1%⇒13年度7.4%
公債費の増加は、将来の住民負担や財政構造の弾力性を圧迫するもので、この比率が10%を超えないことが望ましいとされている。

算を結ぶことができました。

歳入では、土地区画整理事業による人口や新築家屋の増加など個人市民税、固定資産税などが増額となったものの、景気の影響により法人市民税、地方消費税交付金などが減少し、大型建設事業が一段落したことで市債の借入金や基金からの繰入金も大きく減少しました。

歳出では、職員退職金の増加により人件費が48%増、児童手当、生活保護費の増加により扶助費が10・1%増となったものの、スポーツセンターなどの施設整備の完了や土地区画整理事業の事業費減少などにより投資的経費は12・9%減、他会計への繰出金は11・5%減となりました。

これらの結果を財政運営指標で

みますと、財政力指数は0・07ポイント上昇して1・20と全国672市の中で13位、経常収支比率は18ポイント上昇して71・6%となったものの、公債費比率は07ポイント下がって74%と、引き続き良好な数値を維持しています。

◇特別会計歳入歳出決算

13の特別会計のうち、「国民健康保険事業」では、実質収支は引き続き黒字を確保できましたが、前年度からの繰越額を差し引いた単年度収支は高齢者医療費の増大などで赤字となり、歳出の伸びが歳入の伸びを上回る結果となりました。

「有料駐車場事業」では、11か所の駐車場で72万9000台余、2か所の駐輪場で10万8000台余の利用がありました。

「下水道事業」では、3処理区で新たに164軒を供用開始し、全体の供用面積を1189軒に拡大し、13年度末の下水道普及率は40・8%となりました。

「土地区画整理事業」では、桜井地区は仮換地指定に向けて設計調査を行いました。横枕地区は換地処分を終え、他の3地区は事業の終盤を迎え、13年度末の道路築造率は北部地区87・9%、新幹線駅周辺地区99・3%、作野地区90・8%となっています。

◇水道事業会計決算

平成13年度末の給水人口は16万3523人、普及率99・7%で、年間配水量は対前年比0.5%の増加にとどまりました。給水収益は、水道料金改定などで対前年比13・3%増に対し、費用面では資産減耗費や支払利息の減少などで0.6%減となり、純利益5070万円余と3年ぶりの黒字となりました。

平成14年度9月補正予算

8億4420万円余を追加

当初予算以降に新たに必要となった事業などに一般会計で7億7950万円余、特別会計3会計で6460万円余を追加しました。歳出の主な内容は次のとおりです。

◆一般会計

総務費●1180万円余／産休代替の臨時職員賃金増、固定資産税の家屋評価方法の変更に伴うシステム修正業務委託料など。

民生費●890万円余／平成15年度から始まる障害者支援費制度の準備費、精神障害者地域生活支援事業グループホーム補助金など。

衛生費●1570万円余／ディーゼル車の早期買い替え促進のための自動車環境対策補助金増など。農林水産業費●1億700万円余／産業文化公園施設整備基金積立金など。

土木費●5億8750万円余／町

内会要望の道路補修・側溝等工事費増、道路用地購入費増、通学路整備など交通安全施設整備費増、大池公園用地購入費など公園費増、池浦住宅拡張事業工事費減など。

消防費●3270万円余／東海地震対策の冊子全戸配布、小中学校体育館の耐震診断委託料など。教育費●1440万円余／埋蔵文化財発掘調査費など。

債務負担行為●市内循環バス東西線（仮称）の試行負担金／1700万円、明祥地区工業団地関連の周回道路用地取得／2億3200万円、堀内史跡公園用地取得／8500万円

◆有料駐車場事業特別会計

1440万円余／更生病院の移転に伴い、利用時間の延長など利用形態を変更するための整備費。

◆作野土地区画整理事業特別会計 3160万円／国庫補助金の返還と一般会計への繰出金。

◆介護保険事業特別会計

1860万円余／介護認定審査システム改修委託料、国・県負担金の返還など。

北部公民館の使用料を改定

里町の北部公民館に体育施設を増築し、現在、エレベーター設置などの大規模な改修を進めています。来年1月15日からの全面使用開始に合わせて、関係条例を改正

し、新設の施設・設備を含めた使用料を決めました。

安城駅西駐車場の 利用時間を拡大

*屋外部分は24時間営業に



利用形態が変わる安城駅西駐車場

更生病院の移転に伴い、関係条例を改正して、市営駐車場の利用形態を次のとおり見直しました。

安城駅西駐車場・東棟▼11月1日（金）から利用時間を午前6時～翌日午前0時30分に延長（改正前は午前7時～午後10時）

安城駅西駐車場・屋外▼11月27日（水）から利用時間を24時間終日利用に変更（改正前は午前7時～午後10時）

花ノ木町駐車場▼11月1日（金）から定期駐車のみに変更（改正前は普通駐車のみ）